

## 2021年度 太成学院大学高等学校 学校評価

### 1 めざす学校像

建学の精神「教育は徳なり」を礎として、德育を基盤に置いた教育を実践し、学力の定着のみにとどまらず、生徒の徳の形成、人格の形成をめざし、学校全体として取り組んでいく。

- 心身を鍛錬し、忍耐・勤勉・誠実の資質を涵養します。
- 周到緻密な生活指導を行い、人間性を深化させます。
- 基礎学力の補充に留意しながら、学力の充実・伸張をはかります。
- 集団生活を通して、社会連帯性を自覚させます。
- 能力適正に応じた進路指導を親切に行い、生涯学習を志向させます。

### 2 中期的目標

#### (1) 人間力の育成を図る教育の推進を行う。

- ①人とのつながりの第一歩である挨拶の大切さを教員自ら自覚して行動し、生徒に奨励する。
- ②週刊目標・身だしなみ指導を徹底する。
- ③近隣・教育後援会・校友会との交流を行う。

#### (2) 基礎学力の習得を図り、進路指導に活かす。

- ①基礎学力の向上に努める。
- ②生徒の適正・能力に応じた進路指導を行う。

#### (3) 親切・丁寧な生活指導を徹底する。

- ①いじめの未然防止、早期発見、早期指導に努める。
- ②学習環境の整備を行う。
- ③特別教育活動の促進を行う。

#### (4) 教員の資質向上をめざす。

- ①学年・学級間に差のない指導を行う。
- ②事務処理・個人情報管理の徹底をする。
- ③教員資質向上のための啓蒙活動を充実させる。

### 3 アンケート（生徒・保護者・外部）の結果と分析

評価方法：生徒・保護者・外部アンケート

（4段階評価：A⇒よくできている、B⇒ほぼできている、C⇒あまりできていない、D⇒できていない）

目標値：A・B評価で70%以上

#### （生徒アンケートの分析）

目標値を達成できたものが、10項目中7項目（「学校生活が充実している」（84%）、「環境整備が行われている」（88%）、「クラスが楽しい」（82%）、「生徒にあったカリキュラムである」（78%）、「進路指導が行き届いている」（80%）、「生活規律や学習規律など基本的生活習慣の確立に力を入れている」（78%）、「教員が親身になって相談にのってくれる」（85%））であったことから、全体としては、生徒にも高評価を得ていると捉えて良いものと分析する。特に、「学校生活が充実している」、「教員が親身になって相談にのってくれる」、「クラスが楽しい」の3点が高評価であることは、大部分の生徒が学校生活を安心して送っており、充実していることと考えられる。

しかし、目標値を達成できなかった3点、「学校行事が活発である」（46%）、「わかりやすい授業である」（69%）、「校則を遵守する」（55%）について、1点目以外は早急に改善をしなければならない課題と考え、今後取り組んでいく。

#### （保護者アンケートの分析）

目標値を達成できたものが、10項目中7項目（「学校の施設や設備は満足できる」（94%）、「学校が出す文書・事務連絡は適切である」（70%）、「子どもはわかりやすい授業だと言っている」（71%）、「進路指導が行き届いている」（71%）、「生活規律や学習規律など基本的生活習慣の確立に力を入れている」（76%）、「教員が親身になって相談にのってくれる」（82%）、「校則指導が徹底されている」（71%））あったことは、全体としては、保護者の方々に高評価をしていただいていると捉えて良いものと分析する。

ただし、目標値を達成できなかったものが3項目あった。「学校生活が充実している」（65%）、「学校行事が活発である」（24%）、「生徒にあったカリキュラムである」（65%）のうち「学校行事が活発である」はコロナ禍の影響で、行事の中止や内容の変更等があり、仕方ない面もあるが、他の2点については、今後も改善に向けて努力を続けていく。

#### （外部アンケートの分析）

目標値を達成できたものが、10項目中8項目（「学校全体の雰囲気が良い」（100%）、「体育大会や文化祭で校庭でマイクを使う時は事前に連絡がある」（100%）、「学校行事で近隣の方が参加できるものがある」（100%）、「苦情や意見に対してすぐに対応してくれる」（100%）、「学校の教育目標や指導方針に沿った教育を行っている」（100%）、「通学路で生徒が近隣の方に迷惑を掛けないように指導されている」（100%）、「普段の授業中にうるさく騒いだり、校外に出て近隣の方に迷惑を掛けないように指導されている」（100%）、「生徒たちが通学路

の清掃等、奉仕活動をしている」(100%)）あったことは近隣の方々からも概ね本校の教育活動に対して高評価をしていただいていると思われる。

しかし、目標値を達成できなかったものが2項目（「学校行事について実施日の連絡がある」(67%)、「生徒たちがよく挨拶をする」(67%)）あった。特に「生徒たちがよく挨拶をする」については、今後、重点的に指導をしていきたい。

#### 4 本年度の取組内容と自己評価

##### ◎学校評価（内部評価：各教員）

（5段階評価：S⇒達成率100%、A⇒達成率80%以上100%未満、B⇒達成率60%以上80%未満、C⇒達成率40%以上60%未満、D⇒達成率40%未満）

評価指標：S・A・B評価での達成率を用いる。

##### 中期的目標：(1) 人間力の育成を図る教育の推進を行う。

①今年度の重点目標：人とのつながりの第一歩である挨拶の大切さを教員自ら自覚して行動し、生徒に奨励する。

具体的な取組：週刊目標の重点目標に位置づけ、日々啓発指導を行う。

評価指標：自己評価による達成度80%以上 結果：①98% ②98%

自己評価：2項目とも評価指標を上回った。②「生徒に挨拶の啓発指導を行ったか」は、今年度は98%という結果になり、昨年度より4%向上し、高評価ができる。今後も感染予防に留意して、啓発に努めていく。

②今年度の重点目標：週刊目標・身だしなみ指導を徹底する。

具体的な取組：週刊目標は、担任が毎日確認と報告をして、達成状況を把握する。身だしなみ指導は年間5回実施し、事前指導と確認・事後指導に努める。

評価指標：自己評価による達成度80%以上 結果：①96% ②96%

自己評価：全2項目で100%近く達成できており、高評価ができる。

③今年度の重点目標：近隣・教育後援会・校友会との交流を行う。

具体的な取組：近隣補導・近隣清掃・教育後援会や校友会との交流を図る。

評価指標：自己評価による達成度70%以上 結果：①87% ②80% ③60%

自己評価：今年度は3項目中2項目しか評価指標を達成できなかった。③「教育後援会・校友会との交流」は、コロナ禍の影響により、実施できなかったことが原因である。

##### 中期的目標：(2) 基礎学力の習得を図り、進路指導に活かす。

①今年度の重点目標：基礎学力向上に努める。

具体的な取組：シラバスに則った授業を展開し、テスト等を通じて生徒の理解を確認する。

評価指標：自己評価による達成度80%以上 結果：①96% ②92% ③96%

自己評価：3項目全てにおいて、評価指標を達成できた。コロナ禍の影響もある中で、達成できたことは満足のいく結果である。今後も継続して努力していく。

②今年度の重点目標：生徒の適正・能力に応じた進路指導を行う。

具体的な取組：生徒の学力を把握して保護者・生徒が満足できる進路指導を実践する。

評価指標：自己評価による達成度 70 %以上 結果：①94% ②96% ③89%

自己評価：3項目全てにおいて評価指標を上回ることができた。

また、今年度の学校斡旋による就職率は 100 %であった。これで学校斡旋の就職率は 10 年連続 100 %を達成している。

### 中期的目標：（3）親切・丁寧な生活指導を徹底する。

①今年度の重点目標：いじめの未然防止、早期発見、早期指導に努める。

具体的な取組：問題行動の未然防止・早期発見・早期指導を実践する。

評価指標：自己評価による達成度 90 %以上 結果：①98% ②96%

自己評価：2項目全てにおいて評価指標を達成できたが、今後も油断することなく真摯な姿勢で取り組んでいくことが大切である。

②今年度の重点目標：学習環境の整備を行う。

具体的な取組：現時点で活用できる ICT 環境を充分に利用する。また、教室や部署の美化に努める。生徒・保護者への連絡は漏れの無いようとする。

評価指標：自己評価による達成度 70 %以上 結果：①76% ②98% ③100%

自己評価：「生徒・保護者との連絡は充分であったか」が 100 %であった。今後も継続したい。教室・部署の美化については問題はない。ICT 環境の整備については可能なところから進めていくが、現時点で利用できるものを最大限に利用する必要がある。

③今年度の重点目標：特別教育活動の促進を行う。

具体的な取組：クラブ活動への参加を呼び掛けると同時に、各クラブの実績向上をめざす。また、学校行事の充実をめざす。

評価指標：自己評価による達成度 80 %以上 結果：①84% ②98% ③98%

自己評価：3項目全て評価指標を達成できた。特別教育活動は、今年度もコロナ禍の影響があるのは間違いないが、終息後は評価指標を大きく上回るように努力していく。

### 中期的目標：（4）教員の資質向上をめざす。

①今年度の重点目標：学年・学級間に差のない指導を行う。

具体的な取組：教職員が、日々の教職員への連絡事項を確認し、生徒にもれなく伝達する。

必要な時には、授業中の注意を適切に行う。教材研究を充分に行い研究授業を実施し、各教科の教育力向上に努める。

評価指標：自己評価による達成度 80 %以上

結果：①98% ②96% ③98% ④94% ⑤50%

自己評価：5項目中 4 項目は評価指標を上回ったが、研究授業の項目では評価指標を大きく下回っている。実施できなかった教科については、早急に改善するように促す。

②今年度の重点目標：事務処理・個人情報管理の徹底をする。

具体的な取組：教職員が、日々の教職員への連絡事項を確認する。また、個人情報の取り扱いには細心の注意を払い、漏洩等が起こらないように未然防止に努める。更に、提出書類に不備がないように努め、各自の机上を常に整理整頓する。

評価指標：自己評価による達成度90%以上

結果：①100% ②96% ③100% ④100%

自己評価：4項目全て評価指標を上回った。特に連絡事項の確認、個人情報漏洩防止、諸書類の手続き・提出の正確さの3項目では100%の結果であった。これは今後も継続していきたい。

③今年度の重点目標：教員資質向上のための啓蒙活動を充実させる。（募集活動の充実）

具体的な取組：体験入学や相談会などの募集活動を通じ、全教職員が協力して生徒募集に努力し、本校教職員としての自覚を促し、連帯感を確立する。

評価指標：自己評価による達成度80%以上 結果：①96% ②100%

自己評価：2項目とも評価指標を上回り、満足のいく結果となった。

## 5 今後の改善点

- ① カリキュラムや学校生活に関して、満足いただいている保護者もおられる。今後は時間がかかることがあるが、保護者の方や生徒の意見を多く吸収して、時間を掛けて検討し、可能などろから改善を進めていきたい。
- ② I C Tの活用を進めて行く。2022年度から範囲を拡大して運用を開始する。ただし、I C T環境の整備については可能なところから進めていき、現時点で利用できるものを最大限に利用していく。
- ③ 教員の資質向上のためにも、研究授業の実施を進めて行く。
- ④ 2022年度からの学習指導要領の改訂にあたり、各学科・コースにおいて、より充実したカリキュラム編成を行った。今後はその中身と生徒の反応を見て、改善すべき点が無いかを検討していく。
- ⑤ 英検、その他の資格取得にさらに努めていく。
- ⑥ コロナ禍の影響で2020年度は実施できなかった太成学院大学との高大連携講座を実施して、生徒の進路選択の幅を広げる。

## 6 学校関係者評価

① 生徒アンケート結果より

○学校運営において

・「学校生活が充実している」「環境整備が行われている」「クラスが楽しい」の項目が目標値を達成できていることは、先生方の努力の賜物であると思う。「学校行事が活発である」の項目が目標値に及ばないことは残念な結果である。コロナ禍の影響が大きいと考えられるが、終息後は改善されていることを願っている。

#### ○学習指導において

- ・「生徒にあったカリキュラムである」「進路指導が行き届いている」の2項目において、目標値を達成できていることは、素晴らしいことと思う。一方で、「わかりやすい授業である」が目標値を下回っていることを、単年度の結果で判断することは難しいと思うが、今後、慎重に検討していただきたい。

#### ○生徒指導において

- ・「生活規律や学習規律など基本的生活習慣の確立に力を入れている」「教員が親身になって相談にのってくれる」の2項目において、目標値を上回っていることは、素晴らしいことと思う。今後も継続してこのような結果が出るようにしていただきたい。ただし、「校則を遵守する」が目標値を下回っている点は、早急に改善するようにしていただきたい。

### ② 保護者アンケート結果より

#### ○学校運営において

- ・「学校の施設や設備は満足できる」「学校が出す文書・事務連絡は適切である」が高評価であったことは、今後も努力を継続していただきたい。「学校生活が充実している」「学校行事が活発である」の項目においては、目標値を下回っていたことは残念である。すぐに改善することは難しいことは思うが、徐々にでも改善をしていただきたい。

#### ○学習指導において

- ・「子どもはわかりやすい授業であると言っている」「進路指導が行き届いている」の2項目において、目標値を達成されていることは、素晴らしいことと思う。一方で、「生徒にあったカリキュラムである」が目標値を下回っていることを、単年度の結果で判断し、改善することは難しいと思うが、今後、慎重に検討していただきたい。

#### ○生徒指導において

- ・「生活規律や学習規律など基本的生活習慣の確立に力を入れている」「教員が親身になって相談にのってくれる」「校則指導が徹底されている」の全3項目において、目標値を上回っていることは、素晴らしいことと思う。今後も継続してこのような結果が出るようにしていただきたい。

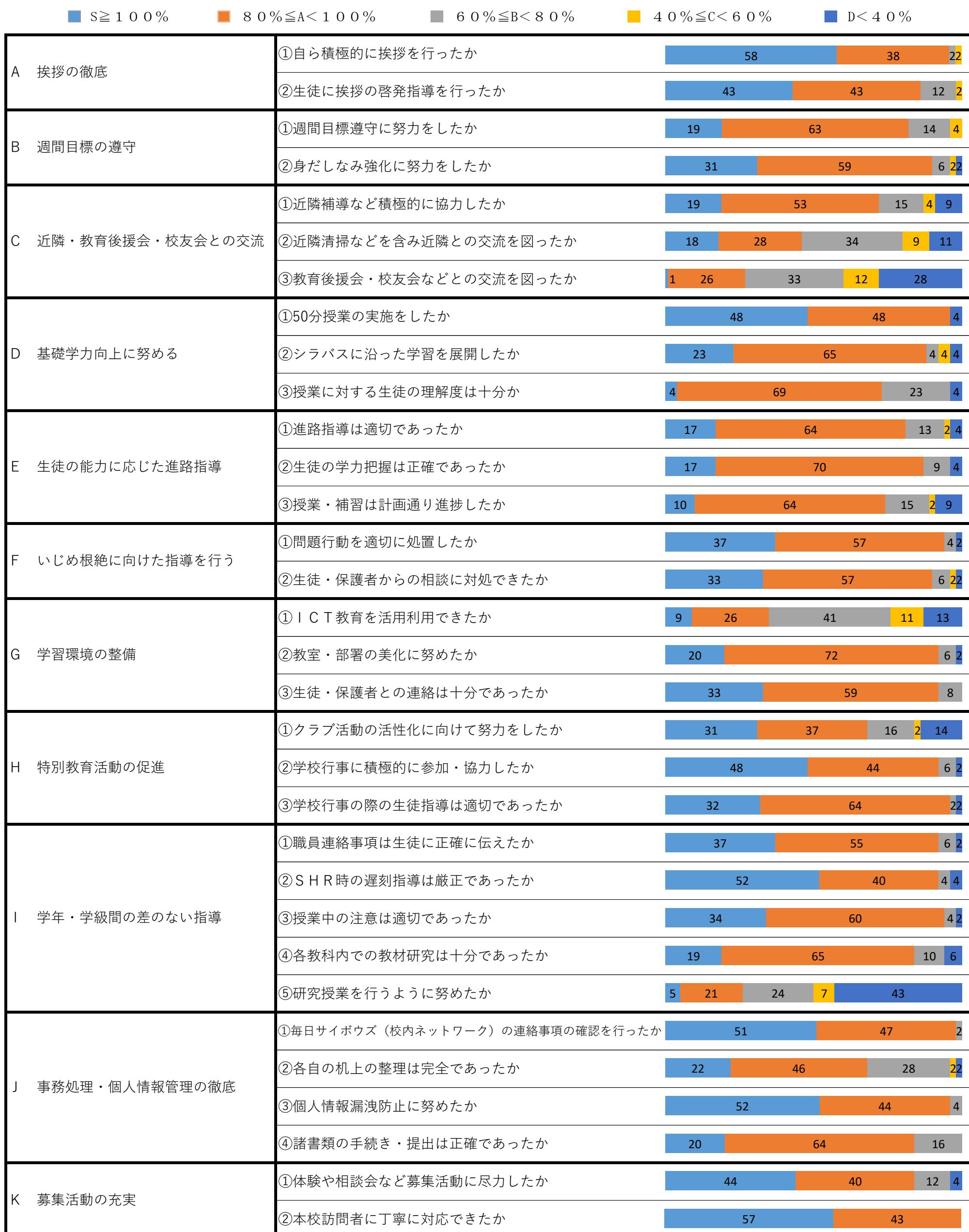
### ③ 内部評価（各教員アンケート）結果より

- ・コロナ禍の影響を考え合わせると、学習指導や生徒指導、進路指導において、非常に努力をされていると考える。
- ・新型コロナウィルス感染症が終息した際には、さらに向上することを願っている。

### ④ その他

- ・「5 今後の改善点」に対して、今後も学校が真摯に取り組み、改善されることを願っている。

## 2021年度 学校評価(内部評価:各教員)



## 1. 生徒アンケート [2021年度アンケート統計 (生徒分) ]

A : よくできている

B : ほぼできている

C : あまりできていない

D : できていない

### 『学校運営』

(1) 学校生活が充実している。

29 55 13 3

(2) 学校行事が活発である。

13 33 33 21

(3) 環境整備が行われている。

45 43 9 3

(4) クラスが楽しい。

35 47 11 7

### 『学習指導』

(1) 生徒にあったカリキュラムである。

20 58 16 6

(2) わかりやすい授業である。

17 52 24 7

(3) 進路指導が行き届いている。

26 54 17 3

### 『生徒指導』

(1) 生活規律や学習規律など基本的生活習慣の確立に力を入れている。

31 47 17 5

(2) 教員が親身になって相談にのってくれる。

41 44 13 2

(3) 校則を遵守する。

15 40 29 16

## 2. 保護者アンケート [2021年度アンケート統計（保護者分）]

A : よくできている

B : ほぼできている

C : あまりできていない

D : できていない

### 『学校運営』

(1) 学校生活が充実している。

18	47	29	6
----	----	----	---

(2) 学校行事が活発である。

5	19	63	13
---	----	----	----

(3) 学校の施設や設備は満足できる。

41	53	53	6
----	----	----	---

(4) 学校が出す文書・事務連絡は適切である。

23	47	24	6
----	----	----	---

### 『学習指導』

(1) 生徒にあったカリキュラムである。

30	35	35
----	----	----

(2) 子どもはわかりやすい授業であると言っている。

24	47	29
----	----	----

(3) 進路指導が行き届いている。

18	53	29
----	----	----

### 『生徒指導』

(1) 生活規律や学習規律など基本的生活習慣の確立に力を入れている。

47	29	24
----	----	----

(2) 教員が親身になって相談にのってくれる。

35	47	18
----	----	----

(3) 校則指導が徹底されている。

18	53	29
----	----	----

### 3. 外部アンケート [2021年度アンケート統計（外部分）]

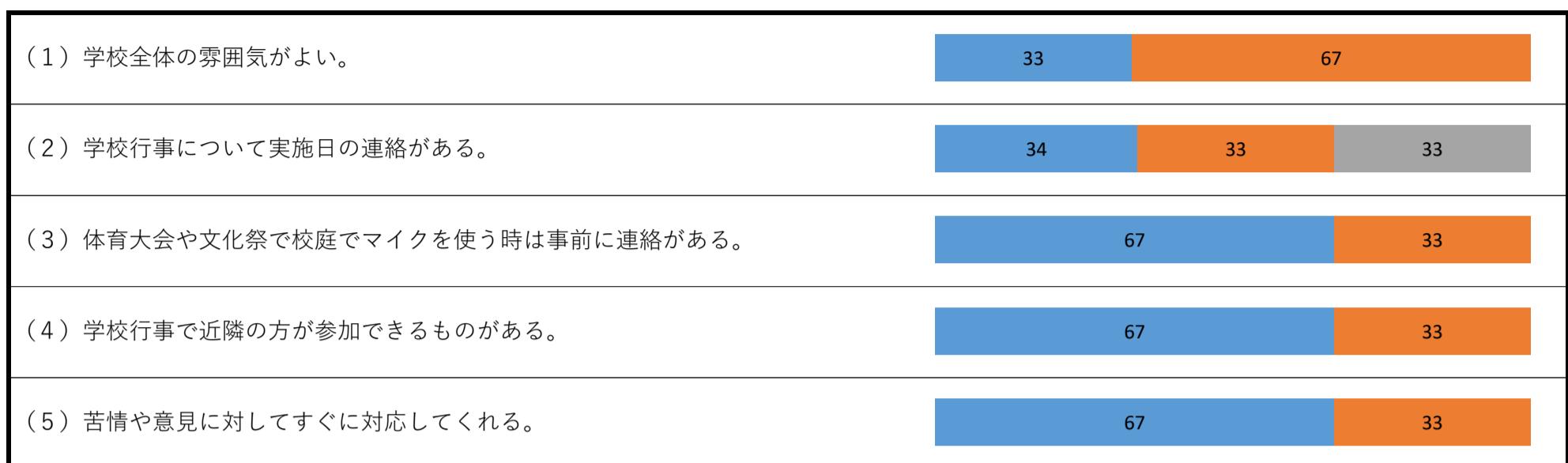
■ A：よくできている

■ B：ほぼできている

■ C：あまりできていない

■ D：できていない

#### 『学校運営』



#### 『生徒指導』

